



病児室だより

R3年8月第3号



病児保育日々の様子

7月後半から30度を超える日が続いたかと思いきや、先日の雨から朝夕秋風が吹き肌寒くセミの鳴き声も、後始末を始めるかの様に賑やかに聞こえます。体調の崩しやすい気温差ですが、衣服の調整や栄養、休養をとり健康な毎日を過ごしましょう。

6・7月の2ヶ月で利用して頂いたお友達は、32名です。症状としては、熱や咳で利用するお友達が主です。調子のよい時は、絵本・玩具・滑り台などを楽しみ過ごし症状や体調に合わせてお家の方のお迎えを待っています。又、食事の方も症状に合わせて準備しております。そして子供たちが帰った後は、室内はもちろん寝具や玩具などすべて消毒処理を行い感染予防対策を徹底し行っております。

山形県感染症発生動向調査

県内において、8/2～8/8現在で最上郡内では、RSウイルスが8名出ており、流行状況に入っております。他群内では、ヘルパンギーナが流行しており、夏風邪を代表するもので感染症であり、兄弟やお友達に感染します。かかったら周囲に気づかってあげましょう。



RSウイルスについて

RSウイルスとは、呼吸器感染症です。2歳までに、ほぼ全ての人が感染し、何度も感染を繰り返すと言われています。有料で検査用キットで鼻水などを採集し検査し診断します。
症状・・咳、発熱、鼻水などの風邪のようなのが数日続きます。
潜伏期間・・約4～6日で、初めて感染した場合は、症状が重くなりやすく、新生児・生後数ヶ月以内の乳児は注意が必要です。多くの場合は軽い症状で済みますが、細気管支炎や肺炎を併発し症状が重くなる場合もあります。

予防方法・・手洗い、マスク、ウイルスの付いている物の消毒

ヘルパンギーナについて

ヘルパンギーナとは、腸の中で増殖するウイルスに感染し発症。主に症状から診断されます。

症状・・高熱・喉の痛み・喉の奥に水膨れができて赤く腫れます。
潜伏期間・・2～5日で、ほとんどの場合、安静にしていれば1週間ほどで回復しますが、まれに重症化する場合もあります。大人でも免疫力が下がっていると、感染することもあります。主に5歳以下の乳幼児を中心に夏から秋にかけて流行します。

予防方法・・こまめなうがい・手洗い・感染者との共有物を避ける
感染者が触れた物の消毒・排泄物の処理に注意



子供のお出かけについて

- ・対策として、暑い時間帯には外出を控え、涼しい時間帯に公園へ行ったり、遊具で遊ぶ前には、保護者の方がまず遊具に触って温度を確かめるといった対応や、日陰がある・水道がある・鉄製遊具ではなく木製遊具がある等、公園内の環境も視野に入れておくことも必要です。
- ・最近、車中での子供の事故が多発しています。同乗する際は十分に気を配り、子供が、疲れのない範囲での楽しい外出になさってください。